

課題名

37. ビワのわい性台木の探索

成
果
の
要
約

作業の容易なわい性台木を探索するため、ビワ（茂木、田中、マメビワ）の自然受粉実生、マルメロ（クインスーC）の挿し木苗、オオカナメモチの実生の5種類の台木に茂木を接ぎ木し、育成した。

1. 木の生育は、マメビワ台は樹高が低く、樹容積が小さく、樹冠占有面積は少なかった。次いでマルメロ台も木が小さい傾向にあり、かつ樹勢の弱った木が現れた。オオカナメモチ台は茂木台、田中台よりむしろ生育が旺盛であった。
2. 収量は、1樹当たりではオオカナメモチ台は多く、マメビワ台は少ない傾向にあったが、樹冠内の単位面積当たりの収量には差は認められなかった。
3. 熟期は、マルメロ台で早い傾向にあり、オオカナメモチ台は熟期が遅れる傾向にあった。
4. 果実は、マルメロ台で大きく、マメビワ台は小さい傾向にあった。オオカナメモチ台は果肉硬度が高かった。糖度は台木間に差は認められなかった。酸含量はオオカナメモチ台が高い傾向にあった。

表1 木の生育と収量（昭59～63年の平均）

台木名	樹高 (m)	樹容積 (m ³)	樹冠占有面積 (m ²)	1樹当たり収量 (kg)	単位面積 当たり収量 (kg/m ²)
マルメロ	2.8 c	11.7 c	6.3 c	8.2 b	1.3
オオカナメモチ	3.4 a	24.8 a	10.8 a	12.7 a	1.2
マメビワ	2.6 d	9.2 d	4.9 d	4.7 c	1.0
茂木	3.1 b	18.2 b	8.7 b	8.9 b	1.0
田中	3.3 b	17.8 d	8.1 b	9.8 b	1.2
有 意 性	**	**	**	**	NS

表2 果実の大きさ及び品質（昭59～63年の平均）

台木名	1果平均重 (g)	果肉硬度	糖度	酸含量 (g/100ml)
マルメロ	36 a	320 b	11.5	0.26 b
オオカナメモチ	35 a b	370 a	11.6	0.29 a
マメビワ	33 c	300 b	11.8	0.24 b
茂木	34 b c	290 b	11.9	0.25 b
田中	35 a b c	290 b	11.4	0.24 b
有 意 性	*	**	NS	**

(果樹試験場)

普及上の留意点